

## 水道展2014へ出展

### ■名古屋水道展 2014

2014年10月29日～31日、愛知県名古屋市 ポートメッセなごやにて、水団連（一般社団法人日本水道工業団体連合会）が主催する名古屋水道展 2014が開催され、神鋼環境メンテナンスと共同出展を行いました。（後援：日本水道協会、名古屋市、日本水道新聞社、水道産業新聞社）

今年度の水道展テーマは『耐震化・更新を実行し、続けよう水道の信頼を!!』ということで121社・団体の出展がありました。

当社の出展品は、水道事業への取り組み PR パネルやろ過池の下部集水装置（A/W ブロック）、微生物による自然浄化作用を活用した上向流式生物活性炭ろ過装置（U-BCF）、水処理遠隔監視システム（ウォータアイ）など計9品目の出展を行いました。

水道研究発表会では『低水温原水に対する U-BCF 処理性能評価』について研究発表を行いました。

『名古屋水道展来場者数……延べ5 000名（水団連調べ）』

※参考……H25年度郡山水道展来場者2 700名

水道展と併催された全国会議では、『水道行政の現状と課題』（厚生労働省健康局）、『水事業における危機管理』（北海学園大学工学部）というテーマで講演会が開催されました。

現在水道事業は、人口減少を背景に水需要の低迷や技術者の減少により事業者が弱体化することが危惧され、また自然災害時の水道運用という課題も抱えています。こういう諸課題に対し、国は新水道ビジョンを策定し、水道事業の『安定・強靱・持続』に向け、事業者の広域化や官民連携、アセットマネジメントの強化などを推進しています。前述の講演会もこれらの課題に対するものです。

また、国際イベントとして海外水道フォーラムも開催され、国際水協会、アメリカ水道協会、台湾水道協会など10団体を招聘し、各国の取り組み事例紹介がされました。

今年度は水道事業の成長戦略として官民連携事業やアセットマネジメントといった水道事業の中長期的運用についての企業 PR が目立った開催でした。

今後も水道事業の安定継続に向けて広域化や官民連携事業を始めとした水道事業の取り組みが加速化していく事と思います。

来年の開催地は埼玉となります。当社次回出展に向け出展準備を行ってまいります。

